

村営みのり設立から今後の取組

令和8年2月13日
(株)土佐くろしお村村営みのり

1.設立について①

- ① 平成27年管内施設園芸農家の労力軽減、耕作放棄地解消を目的にJA100%出資子会社設立
- ② 設立当初から水稲関連事業に特化した業務を行う事とし、水稲育苗センター(3ヶ所)・ライスセンター(3ヶ所)・コイン精米機(9ヶ所)・水稲作業受託・飼料用米生産(5ha)の事業で開始した。
- ③ 設立時は、社長(JA組合長)、役員2名(JA出向職員)合計3名、総務、営農部が事務方としてサポートする体制でスタートした。

1.設立時②

④ 株主状況

土佐くろしお農業協同組合	1株主	9,000,000円
--------------	-----	------------

⑤ 取締役状況

役職名	JA役職
取締役社長	代表理事組合長
取締役	出向職員
取締役	出向職員
監査役	常勤監事

⑥ 追加取締役(平成27年6月)

役職名	JA役職
取締役	代表理事常務(経済担当)
取締役	営農部長

1.設立時③

・白紙委任とは、委任者が受任者に対し、具体的な指示をせずに一任する委任契約のことを指します。文字通り「白紙」の状態です。委任状を渡し、受任者に広範囲の権限を与えることを意味します。

⑦ 職員・雇用の状況

職種区分	人員	主な業務
常勤取締役	2人	JA出向職員、 <u>白紙委任</u> 、作業受託、管理
嘱託職員	1人	JA出向嘱託職員、 <u>白紙委任</u> 、作業受託
臨時・パート	42人	育苗、ライス、作業受託
作業委託	3人、1団体	作業受託

⑧ 事業売上高

・水稲育苗センター(3ヶ所)及びライスセンター(3ヶ所)はJA本体のレンタル費用等で収益面では低く、コイン精米機(9ヶ所)と水稲作業受託は黒字となったが、飼料用米生産(5ha)は大きな赤字が発生した為、全体の事業としては赤字となった。

1.設立時④

⑨ 事業の状況

作業区分	27年実績	摘要
白紙委任	479a	飼料用米(専用品種、転用)
もち米	53a	JAまつり用等
保全管理	0a	耕作不利地
計	532a	57枚、30人(平均9.3a)

作業区分	27年実績	委託者数	摘要
耕起	85a	7件	
荒代	20a	2件	
代かき	20a	2件	
田植え	230a	14件	
稲刈り	360a	22件	
配達	150a	10件	
計	865a	57件	

2.設立からの推移①

- ① 平成28年～29年の二期・三期は、担い手サポート事業の補助金により黒字になったが、平成30年～令和元年の四期・五期と赤字となった。
- ② 平成30年に高知県から中山間農業複合経営拠点事業所の認定を受け、管内の作業受託組織や個人作業受託者と連携し、作業機器の共有化を推進し、管内受託組織との経営支援も含めた連携を始めた。

2.設立からの推移②

- ③ 中山間農業複合経営拠点事業に認定されたことをきっかけに、コンサルを受け、各部門ごとに経営分析を行い、赤字の原因を把握し、白紙委任の飼料用米栽培が、**10a当りの収益(補助金)80,000円**であるのに対し、**生産経費は110,000円**となっており、面積を拡大すればするほど赤字額は大きくなっていった。
- ④ このままでは、子会社として立ち行かなくなる事は明白であるが、設立時に掲げた管内農業者の労力軽減、耕作放棄地解消という目的は、ないがしろにはできないジレンマがある。

2.設立からの推移③

⑤ 白紙委任の面積推移



2.設立からの推移④

⑤ 作業受託の面積推移



3.村営みのりの課題

- ①各部門の収益は、**育苗センター・コイン精米機・作業受託は黒字**であるが、**白紙委任圃場での飼料用米栽培については大きな赤字**となっており、この赤字部分を他事業の黒字でカバーできない状態が続いている。
- ②また、**設立初年度約5ha**であった白紙委任圃場は、**令和元年度には約16ha**迄拡大しており、今後も益々面積拡大が予定されている。
- ③現在、黒字部門の**育苗センター等**でも、今後の**機械修理及び更新**は避けて通れない状況である為、**赤字部門となる可能性が大きい**。

3.村営みのりとしての認識

- ① 地域水稲栽培維持の観点からは、**育苗センター・ライスセンター**は休止する事はできない。
- ② 水稲の部分的な**作業受託**も必要な活動である。
- ③ 中山間農業複合経営拠点として活動しなければ、**地域受託組織の支援**も不可能となる。

4.村営みのりの2つの事業理念

拠点事業所として①稼ぐ事業②地域を支える事業の双方の取り組みが要求される。

① 稼ぐ事業

作業受託と受託組織への作業委託業務についても黒字であり、これを稼ぐ事業と位置付ける。

② 地域を支える事業

白紙委任圃場による飼料用米生産については、大きな赤字であるが、地域を支える(米生産調整による米価の安定)事業と位置付ける。

5.村営みのり経営方針の変更

- ① **育苗・ライス・コイン精米機**については、**JA管理**とし、以前の様に育苗・ライスセンターは営農部、コイン精米機は支所及び農機課が運営主管となる。
- ② 但し、各課及び各支所について人員に余裕が無いなど、主管となる事に問題がある場合、みのりは**JAより施設管理の委託**を受け、作業段取りや機械整備及び集金、清掃、顧客対応などに取り組む。(収益管理以外の作業を今まで通り実施する。)

6.村営みのり収支改善計画①

① 育苗センター管理

・本所、中土佐、葉山の三か所の育苗センターの管理、段取りを営農指導課の担当者で行う。

② ライスセンター管理

・3ヶ所のかわうそ、葉山、中土佐のライスセンターの管理、段取りを営農指導課担当者で行う。

③ コイン精米機管理

・管内に9ヶ所(多ノ郷・浦ノ内・吾桑・上分・葉山・大谷・中氏・久礼・上ノ加江)に設置されている精米機を月3回の集金、清掃作業やクレーム対応を土日問わず行う。

6.村営みのり収支改善計画②

- ① 白紙委任圃場の借地料無償化(反当5,000円)を、地権者に説明し、令和2年度より実施した。
- ② 白紙委任圃場で設立当初から栽培を続けてきて耕作不利地、鳥獣被害圃場など、採算が全く取れない圃場は、地権者に理由を説明して返却もしくは保全管理に切り替えた。
- ③ 補助金・助成金の上積み
須崎市再生協助成金として10a当り10,000円が飼料用米生産支給してもらい、飼料用米の複数年契約(12,000円/10a)も開始し、少しでも生産経費110,000/10aに近づけ赤字部分を減らす。

7.今後展開①

- ① 収支改善計画により、コンサルを受けながら経営の仕組みを根本から見直した。
- ② その結果、飼料用米生産及び水稲作業受委託事業に特化し、育苗、ライス、コイン精米機については、JAから委託を受け管理する事とし、管理料をJAから受け取る方法とした。
- ③ この事により、みのりの経営状態は大幅に改善した。また、みのりを取り扱う事務量が削減でき簡素化された。

7.今後展開②

- ④ 作業受託組織や集落営農組織と同様に村営みのりにおいても労働力確保が最重要課題である。
- ⑤ くろしお管内は施設園芸地帯であるため、作業オペレーターとして園芸農家の協力を得る事に加え、第二種兼業農家の機械老朽化による作業不能者に声かけし、地域限定の作業オペレーターとして雇用契約する計画を進める。
- ⑥ 令和7年度の補助事業で、ドローンを導入し防除作業の効率化を図る。また、ドローンの作業オペレーターと契約して、地域防除（集団防除）を推進する。

7. 今後展開③

⑦ 取締役状況

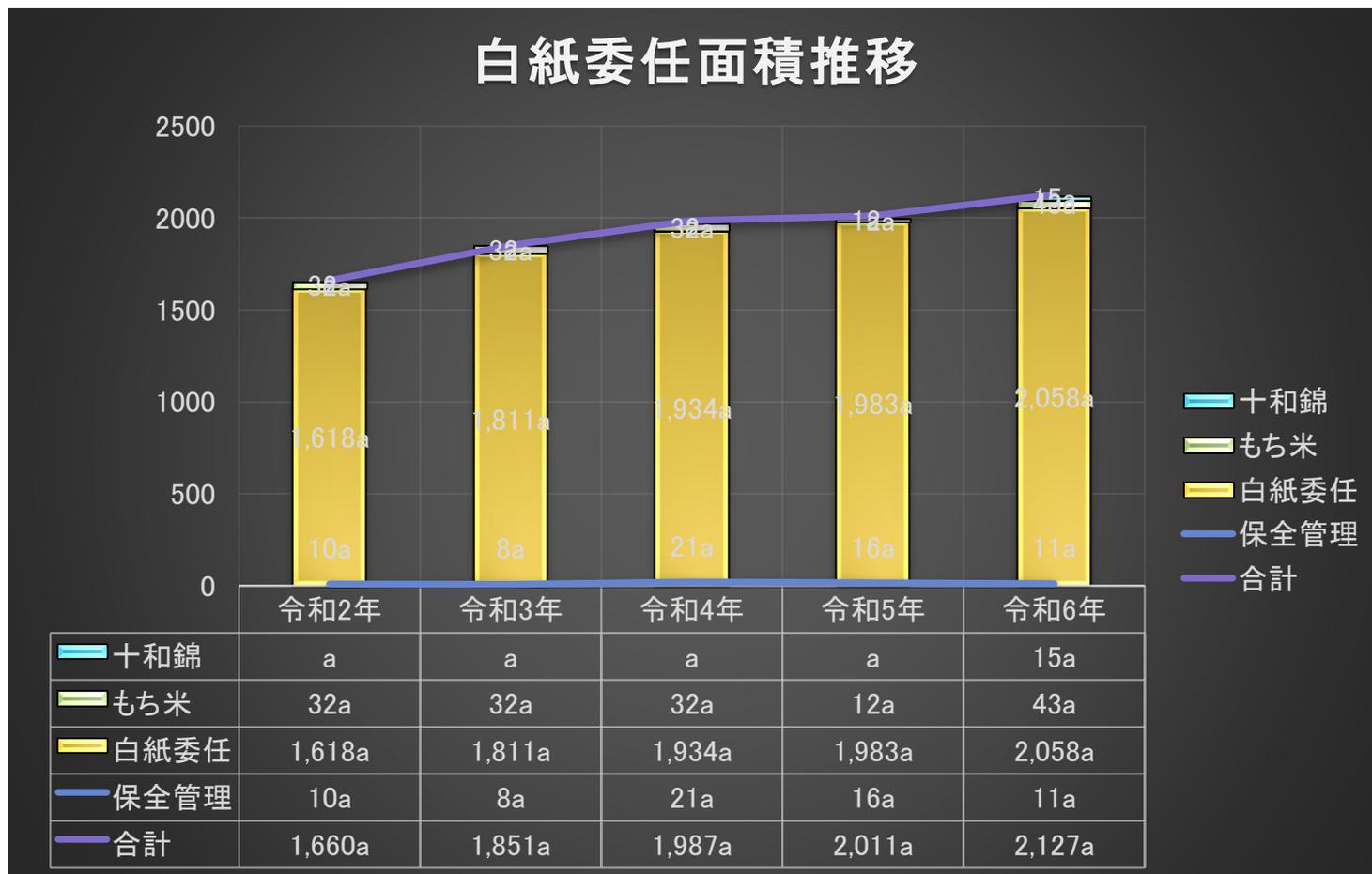
役職名	JA役職
取締役社長	経済担当役員
取締役副社長	出向職員
取締役	営農販売部長
取締役	農業振興課長
取締役	出向職員
監査役	常勤監事

⑧ 職員・雇用の状況

職種区分	人員	主な業務
常勤取締役	2人	JA出向職員、 <u>白紙委任</u> 、作業受託、管理
嘱託職員	2人	JA出向嘱託職員、 <u>白紙委任</u> 、作業受託
臨時・パート	2人	作業受託
作業委託	2人、4団体	作業受託

7.今後の展開④

⑨ 白紙委任の面積推移



7. 今後展開⑤

⑩ 作業受託の面積推移

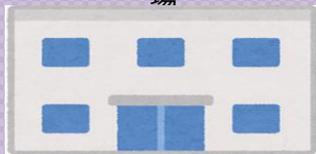


7. 今後展開⑥

須崎市・中土佐町・津野町の地域農業を支える仕組みの再構築（構想）

- 平成27年度から、土佐くろしお農業協同組合が出資する(株)土佐くろしお村村営みのりを拠点に水稲生産者等と連携し、地域農業を支える仕組みづくりに取り組んできたが、支援できる範囲が限られてきており、今後、支援範囲を広げるためには、地域の農業者等と協同して取り組めるよう仕組みを再構築する必要がある。
- 仕組みの再構築に向けては、地域ごとに、後継者のいなくなった農地を引き受け、水田農業によって地域農業を支えようとする水稲生産者（水田の守り手）や、水稲の基幹作業を引き受けられる農業機械オペレーターを育成し、支援する水田面積を広げる。
- また、3市町が協力した推進体制を整備するとともに、水田維持管理対策の総合的な窓口として、地域で行われている水稲の農作業受委託の実態把握や調整などを行うコーディネーター（水田維持管理対策専門員）をJA土佐くろしおに配置し、地域のできるだけ多くの水田が維持・管理できるようサポートする。
- さらに、(株)土佐くろしお村村営みのりと、地域農業を支えている日本型直接支払制度を活用した農業生産活動や農地維持活動を行っている組織等が協同することで、地域の農業者等が維持・管理しているまとまった農地（農業の経営基盤）を次世代にしっかり引き継ぎ、農業を基盤とした持続可能な地域社会（農村）を実現させる。

須崎市・中土佐町・津野町役場



支援

- ・水田維持管理対策専門員の人件費補助
- ・農業機械のレンタル料補助等

須崎市・中土佐町・津野町
農業振興対策推進協議会

- ・水稲の農作業受委託や農地維持活動等の状況把握・課題整理
- ・農業を支える仕組みの見直し・実行支援

【構成員】

- ・須崎市、須崎市農業委員会
- ・中土佐町、中土佐町農業委員会
- ・津野町、津野町農業委員会
- ・高知県須崎農業振興センター
- ・(株)土佐くろしお村村営みのり
- ・水田維持管理対策専門員
- ・土佐くろしお農業協同組合（事務局）

JA土佐くろしお



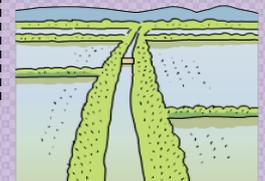
育苗センター



水田維持管理対策専門員

- ・水田維持管理対策の総合的な窓口
- ・水稲の農作業受委託のコーディネート
- ・農地維持活動等の状況把握 等

情報収集・提供



地域

賃金



農作業

農業機械
オペレーター

農作業委託者

農地の出し手

農地の借受け（白紙委任）

水田の守り手

農業機械のレンタル

日本型直接支払制度を活用して農業生産活動や農地維持活動を行っている組織等

(株)土佐くろしお村
村営みのり
【JA出資型法人】

交付金事務の
共同事務局

村営みのり保有機械類(参考)

- トラクター6台(15ps・28ps・31ps・37ps・38ps・45ps)
- 田植え機5台(6条植3台・5条植2台)
- 歩行用田植え機2台(レンタル用)
- コンバイン6台(2条1台・4条5台)
- キャリアカー4t 1台
- 堆肥散布機2台
- 自走式草刈り機2台
- 溝切機1台
- 防除機2台(内1台散布用ドローン)
- 機械洗浄機1台
- 畦塗機1台
- ハロー2台

JA土佐くろしお 料金一覧表【令和8年度】

【村営みのり受託作業料金 一覧表】

★ 10a未満の圃場に対しても一律基本料金をいただきます。10a以上の圃場は1a単位で計算します。

★ この基本料金は、水田利用地の料金です。それ以外の利用地の料金はお問い合わせください。

作業名	基本料金(税込み)	作業内容
冬季耕起	10a	11,000円 タテ 1回
	10a	14,300円 タテ・ヨコ 1回
	10a	14,300円 タテ 1回(低速の作業)
耕起 加算	区画ごと	1,100円
粉碎培地散布	10a	9,900円 粉碎培地2.5t/10a
荒代	10a	14,300円 タテ・ヨコ 1回
荒代 加算	区画ごと	1,100円
代かき	10a	11,000円 土寄せは、要相談
代かき 加算	区画ごと	1,100円
畔塗り	メーター	110円 畔塗りの申し込み期日は、12月末までとします
畔塗り加算	区画ごと	550円
田植(乗用)	10a	11,000円 四隅植含む。ただし機械植(補植は含まない)
田植 加算	区画ごと	550円
田植時の施肥	10a	2,200円 本人準備の肥料を撒く
田植時の箱薬剤処理		1,100円 本人準備の箱剤を機械により散布
田植機レンタル	半日	5,500円 歩行用田植機
田植機の運搬料	1回	1,650円 田までの機械の往復運搬
稲刈り	10a	22,000円
		要相談 湿田・倒伏田など(上限27,500円として要相談)
稲刈り 加算	区画ごと	1,100円
籾運搬	10a	4,400円 稲刈り後の籾を田から乾燥機までの運搬

JA土佐くろしお 育苗センター ライスセンター

【育苗センター料金 一覧表】

【ライスセンター料金 一覧表】

作業名	料金(税込み)	作業名	料金(税込み)
水稻苗	1枚 ※939円	籾乾燥	1回 19,800円
水稻苗(自己取り)	1枚 ※774円	籾摺り	1袋 495円
※ 種子価格確定までの暫定単価とし、価格が分かり次第、単価を変更する可能性があります。		籾摺り(端数)	k g 28円
		2番籾摺り	k g 28円

【料金計算例】

稲刈り料金計算

(例) 23aの圃場の稲刈り作業を依頼された場合
 $2.3 \times 22,000 = 50,600$ 円(税込み)

50,600円を購買課より請求させていただきます。

最後に

地域の水田を守る、耕作放棄地を出さない、農地を保全する等の目的で設立した「村営みのり」は、まだまだ課題を抱えています。しかしながら、各市町の地域計画を見据えた取り組みが必要になります。前述で述べた水田維持管理の取り組みは始まったばかりですが、モデル地区を選定して始めています。

今後、関係機関と協力して、地域農業を支える取り組みを構築していきます。

ご清聴ありがとうございました。